

エコアクション21

環境経営レポート

2023 年度



対象期間 : 2023 年 6 月 1 日 ~
2024 年 5 月 31 日



株式会社 田中建設

発行日 : 2024年8月31日

1 事業所の概要	1 ~ 3
2 推進体制表	4
3 環境経営方針	5
4 (株)田中建設のSDGsへの取組み	6
5 環境経営目標と結果	7 ~ 9
6 環境活動計画及び取組結果とその評価、 次年度の取組内容	10
7 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	11
8 代表者による全体の評価と見直し	12

1. 事業所の概要

1) 事業所の名称及び代表者名

株式会社 田中建設
代表取締役 田中 均

2) 事業所所在地

本社 〒923-1237 石川県能美市上清水タ70番地1

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 工事部 田中 健
連絡先TEL 0761-51-7880
e-mail info@tanakaken.com

4) 事業内容

一般土木工事業 建設発生土リサイクル（改良土・防草土）製造・販売
建設汚泥の中間処理業 産業廃棄物収集運搬業
固化材製造・販売

5) 事業の規模

法人設立 1994年3月10日
資本金 3000万円
従業員数 25名
延べ床面積 本社 : 110㎡ 倉庫 : 300㎡
建設発生土リサイクルセンター : 38,535㎡
汚泥中間処理場 : 2,735㎡
売上高 690百万円 (2023年6月1日～2024年5月31日)
主要製品 改良土、防草土、各種固化材

6) 施設等の状況

運搬車両種類と台数	10tダンプ : 2台 4tダンプ : 3台 4tバキューム車 : 1台 3tユニック車 : 1台 2tダンプ : 2台 軽車両 : 7台 営業車等 : 4台
作業機械の種類と台数	リトラ : 3台 タイヤショベル : 2台 バックホウ : 5台
設備	フルイ機 : 2基 粒状改良土プラント : 1基 固化材プラント : 1式
処理施設の種類の	汚泥中間処理施設
処理する産業廃棄物の種類	汚泥（無機性汚泥）
汚泥中間処理処理能力	2151.6m ³ /日（11時間）
固化材製造	約30 t /日（8時間）

7) 2023 年度処理実績

産業廃棄物収集運搬量	5,574	t
産業廃棄物受託処理量（汚泥）	17,989	t

※受託した廃棄物は100%再資源化しています。

8) 事業年度と認証・登録対象範囲

事業年度 2023年6月1日～2024年5月31日

対象範囲

一般土木工事業、建設発生土リサイクル（改良土・防草土）製造・販売
建設汚泥中間処理、産業廃棄物収集運搬業、固化材の製造・販売

9) 保有許可の内容

●一般建設業許可の内容

許可番号	許可年月日	建設業の種類
石川県知事 般-2 第12943号	令和2年7月31日	土木工事業、とび・土木工事業、 石工事業、舗装工事業、 鋼構造物工事業、浚渫工事業、 水道施設工事業、解体工事業
	有効年月日	
	令和7年7月30日	

●産業廃棄物処分業許可の内容

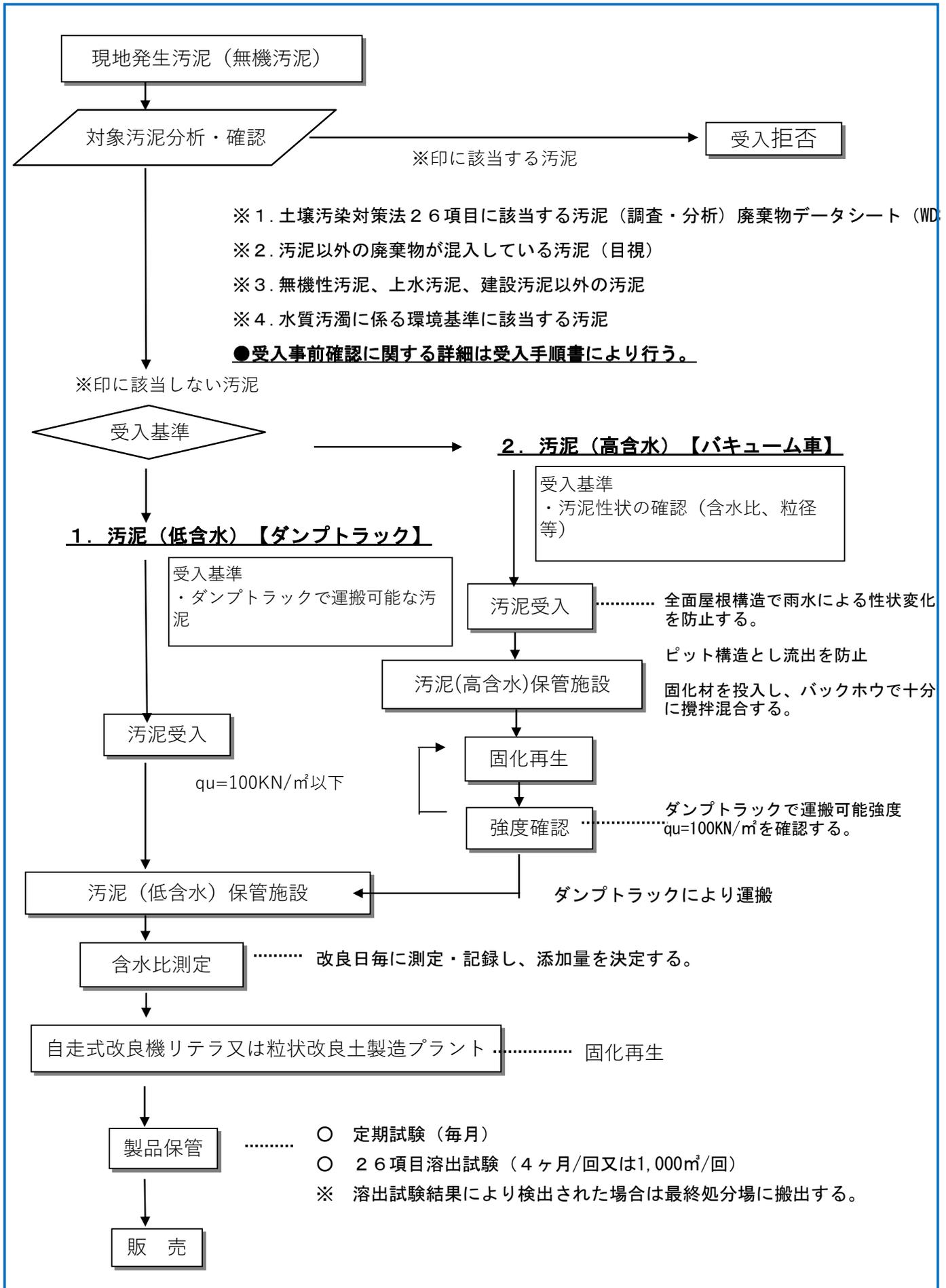
許可区域	許可番号	許可年月日	事業の区分	廃棄物の種類
石川県 【優良】	第01722100304号	令和2年3月24日	中間処理	汚泥 (無機性汚泥に限る) ※移動式で使用する場合 金沢市を除く県内一円の 建設汚泥の発生する場所に限る
		有効年月日	処理能力	
		令和9年3月23日	2151.6m ³ /日	

許可区域	許可番号	許可年月日	事業の区分	事業の範囲
石川県 【優良】	第01702100304号	令和2年4月17日	収集運搬	汚泥、廃プラスチック類、紙くず、 繊維くず、ゴムくず、金属くず、 ガラスくず・コンクリートくず及び 陶磁器くず、がれき類 【積替え保管なし】
		有効年月日		
		令和9年3月23日		

●産業廃棄物に関する保有資格

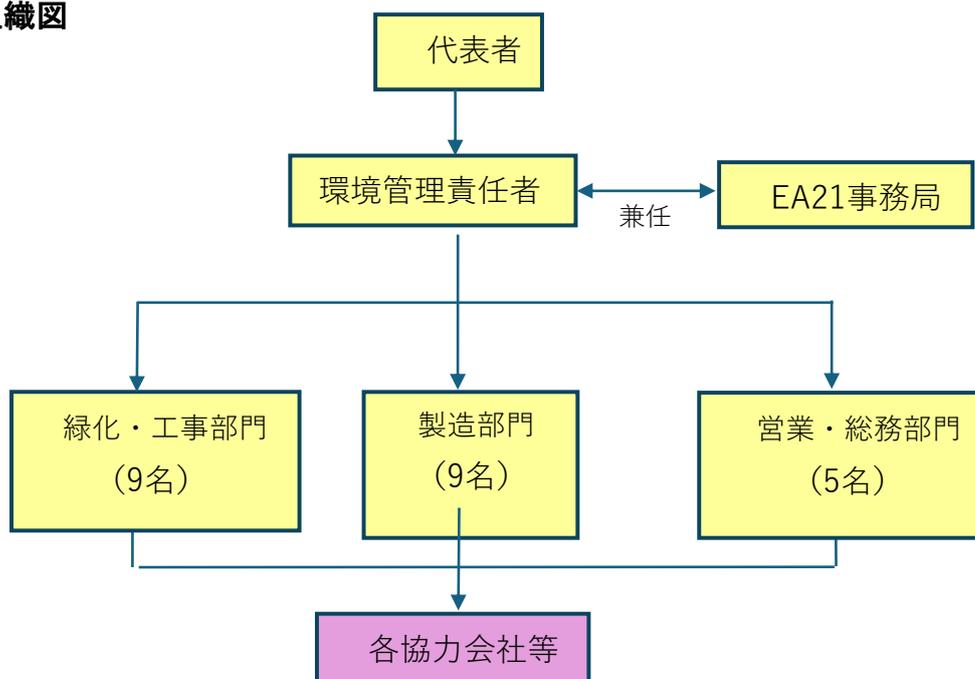
資格名称	資格保有者	認定又は修了番号	取得年月日
産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会修了（処分課程）	田中 均	第618170005号	平成30年11月29日
産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会修了（収集・運搬課程）	田中 均	第518103005号	平成30年11月29日
産業廃棄物中間処理施設技術管理士	新田光春	認定番号023182	平成19年7月6日

10) 建設汚泥処理フロー図



2. 推進体制表

(1) 組織図



合計：25名（協力会社を除く）

(2) 責任者の役割

代表者	経営における課題と運営の明確化 環境経営方針の制定 環境管理責任者の任命 エコアクションシステムの見直し
環境管理責任者	エコアクション21活動責任者 環境目標、計画の作成と進捗管理 環境経営レポートの作成、公開
EA21事務局	進捗管理のデータ収集、整理 環境管理責任者の補佐
工事・緑化部門 製造部門	電気・水資源・LPガス使用量管理 燃料/重機・車両の管理 産業廃棄物の管理・リサイクル 収集運搬業務の適正化
営業・総務部門	一般廃棄物の管理・リサイクル グリーン購入推進 書類・資料の電子データ化 産業廃棄物管理票（マニフェスト）管理
各協力会社等	環境関連法規制等の遵守 産業廃棄物の適正な運搬・処分実施

3. 環境経営方針



《基本理念》

株式会社田中建設は、循環型社会の実現、自然と人間の調和をモットーに未来をつなぐ8つの事業を展開していきます。

事業活動を進める中で、環境に及ぼす影響を理解し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展する活動を行っていきます。

《行動指針》

- 1 事業活動で消費するエネルギーで特に電気、燃料の使用量を削減し地球温暖化防止に努めます。
- 2 産業廃棄物の収集運搬及び中間処理の業務を適正且つ安全に実施すると共に無駄を改善し作業の効率化を図ります。
- 3 自社・自社工事における廃棄物排出量の削減及び受け入れた廃棄物のリサイクル率を高めるための処理技術の向上に努めます。
- 4 環境側面に関する法規制の他に、顧客との約束事項及び当社が定める自主管理基準を遵守します。

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

制定日： 2010年6月1日

改定日： 2020年6月1日

株式会社 田中建設
代表取締役 田中 均



私たち株式会社田中建設は循環型社会の実現、自然と人間の調和をモットーに事業を展開しています。環境への影響を理解し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら活動を行

《 株式会社 田中建設のSDGs達成に向けた取り組み内容 》

～ 環境 ～



- 土のリサイクルシステムを構築。再生土（改良土・防草土）を製造し、環境保全に取り組んでいる。
- スtockヤード運営事業者に登録し建設発生土の適切な有効利用に取り組んでいる。
- 事業活動で使用する電力・燃料について使用量削減に努め、二酸化炭素の排出量についても年間削減目標を設定し、削減に取り組んでいる。
- 事業活動で使用する水について削減目標を設定し、使用量削減に取り組み、排出される水は定期検査を実施し水質汚濁防止法に遵守している。
- 地域の「道路の里親」に認証。地域の景観維持に取り組んでいる。
- 3R運動を推進し廃棄物の削減に努めている。

～ 経済 ～



- 一般社団法人 全国建設発生土リサイクル協会の正会員となり、全国組織で有限な資源である“土”の利用促進を図り、持続可能なシステム構築を目指している。
- 土木事業（道路・河川）はインフラの一部であり、資材に「リサイクルした土」を利用することで環境保全と国土強靱化に貢献できる。

～ 品質・安全 ～



- 製造した改良土・防草土・石膏系固化材は定期試験を実施し、安心・安全な製品製造に努めている。
- 建設機械・重機及び施設設備の維持管理を定期的実施し、安全・高品質な製品製造に取り組んでいる。
- 事業活動に伴って発生する産業廃棄物は優良産廃処理業者を優先的に委託している。

～ 労働・健康 ～



- 5S活動を通して組織力UP！業務効率化、安全な職場づくりを目指している。
- 人材育成の強化。従業員は業務に必要な資格は会社負担で取得できる。
- 会社負担で定期健康診断を実施。

5. 環境経営目標と結果

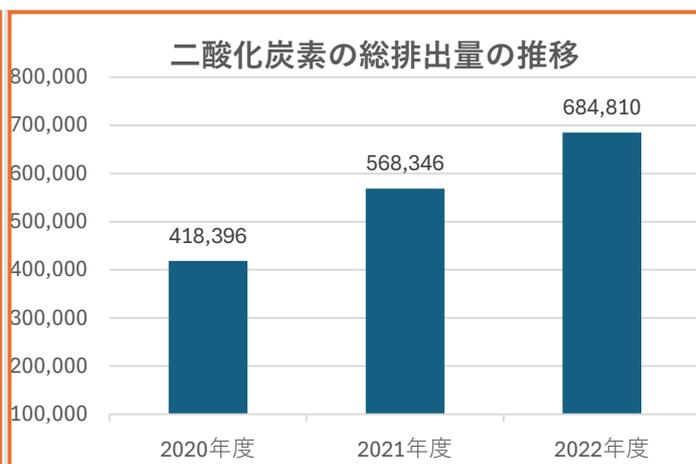
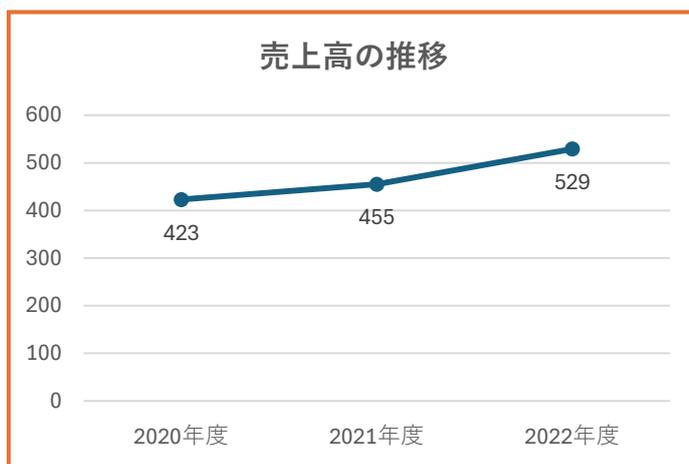
1) 過去3年間の実績

項目		単位	2020年度	2021年度	2022年度
売上高		百万円	423	455	529
二酸化炭素排出量	購入電力	kg-CO ₂	11,369	37,633	50,507
	ガソリン		24,803	28,677	30,443
	軽油		379,675	429,180	470,262
	灯油		2,106	7,191	3,128
	LPガス		443	626	390
	A重油		-	65,040	130,080
	CO ₂ 総量		kg-CO ₂	418,396	568,346
原単位	kg-CO ₂ /百万円	989	1,249	1,295	

水使用量	m ³	1,839	1,690	1,523
一般廃棄物排出量	kg	157	146	142
産業廃棄物総排出量	t	980	958	994
リサイクル率	%	100	100	100
受託廃棄物量	t	32,910	17,846	28,399

※購入電力の二酸化炭素排出係数 0.445 (kg-CO₂/kWh)

※2020年度、2021年度、2022年度の産業廃棄物総排出量と2022年度の水使用量に誤りがあったので修正した。



2) 中期目標

	環境目標	単位	基準年	中期目標		
			2022年度	2024年度	2025年度	2026年度
	売上高	百万円	529	529	529	529
二酸化炭素総排出量	購入電力	kg-CO ₂	50,507	50,002	49,749	49,497
	ガソリン		30,443	30,139	29,986	29,834
	軽油		470,262	465,559	463,208	460,857
	灯油		3,128	3,097	3,081	3,065
	LPガス		390	386	384	382
	A重油		130,080	128,779	128,129	127,478
	CO ₂ 総量		kg-CO ₂	684,810	677,962	674,538
	原単位	kg-CO ₂ /百万円	1,295	1,282	1,275	1,269

水使用量		m ³	1,523	1,493	1,477	1,462
一般廃棄物排出量		kg	142	139	137.7	136
産業廃棄物の	排出量	t	994	974	964	954
	リサイクル率	%	-	90%	90%	90%
受託廃棄物量(建設汚泥)		t	28,339	-	-	-

- ① 2022年度を基準年として、二酸化炭素排出量は原単位ベース【売上高当たりのCO₂排出量】を採用し、毎年0.5%ずつ削減する。
- ② 購入電力の二酸化炭素排出係数は 0.445 kg-CO₂/kWhを使用している。
- ③ 売上高は目標期間中は仮に基準年2022年度の 529 (百万円) を設定した。
- ④ 2022年度実績の水使用量と産業廃棄物排出量に誤りがあったので修正した。
- ⑤ 水使用量、一般廃棄物・産業廃棄物排出量は2022年度基準として、2023年度は、毎年1%ずつ削減目標とする。
- ⑥ 産業廃棄物はリサイクル率90%以上を目標に設定。受託廃棄物量(建設汚泥)は目標値は設定せず、数量のみ把握する。

3) 今期の結果

	単位	基準年 2022年	2023年度 目標	2023年度 実績	達成率	達成 状況	
売上高	百万円	529	529	690			
二酸化炭素 総排出量	購入電力 *1	kg-CO2	50,507	50,254	74,362	68%	×
	ガソリン	kg-CO2	30,443	30,291	30,848	98%	△
	軽油	kg-CO2	470,262	467,911	390,624	120%	○
	灯油	kg-CO2	3,128	3,112	588	529%	○
	LPガス	kg-CO2	390	388	599	65%	×
	A重油	kg-CO2	130,080	129,430	162,600	80%	×
	CO2総量	kg-CO2	684,810	681,386	659,621	103%	○
原単位	kg-CO2/ 百万円	1,295	1,288	956	135%	○	

水使用量	m3	1,523	1,508	2,242	67%	×
一般廃棄物排出量	kg	142	141	149	94%	△
産業廃棄物の 排出量	t	994	984	598	165%	○
	リサイクル率	%	—	90%	100%	
受託廃棄物量(建設汚泥)	t	28,339	—	17,989	—	—

グリーン購入の推進 *2	—	推進	推進	購入	100%	○
環境配慮製品の販売促進(防草土・改良土)	m3	4,666	—	12,377	—	—
収集運搬における環境配慮	・無駄な収集運搬ルートを選択せず道路状況(混雑具合)の把握によるルートを中心に心がける。					

*1 購入電力の二酸化炭素排出係数…0.445 kg-CO2/kWh 使用

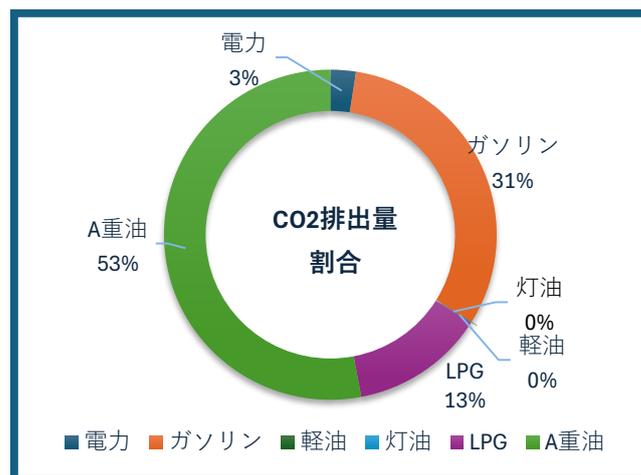
*2 グリーン購入(事務用品)はすべて環境ラベル表示製品を購入した。

評価基準 ○:達成 △:0~10%未満未達成 ×:10%以上未達成

【評価結果】

固化材事業部で使用する電力(高圧)とA重油のCO2総排出量は目標値をオーバーしているが、全体の売上高に対するCO2総排出量は目標値を大幅に達成出来ている。

今年度は河川災害復旧・土質改良工事の受注、リサイクルセンターの稼働率がUP!したので、売上が伸び良い結果に繋がった。



6. 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

評価日 2024年7月30日

1) 環境活動計画及び取組結果とその評価

取組結果： A=よくできた B=まあまあできた C=あまりできなかった D=全くできなかった

		具体的取組計画	取組結果	次年度の取組	担当
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量	空調設備温度の適正化（冷房26℃ 暖房23℃）	A	継続	宮下
		不使用時・退室時、消灯に徹底	A	継続	
		照明機器の清掃	A	継続	
		節電表示等で節電の呼びかけ	A	継続	
		エアコンフィルターの清掃	A	継続	
	ガソリン・軽油・A重油使用量	アイドリングストップ	B	継続	東川
		急発進・急加速・急ブレーキの防止	A	継続	
		車両点検・整備の徹底	A	継続	
		現場における重機の効率的運用	A	継続	
		工場の機械の効率的運用	A	継続	
		現場移動は乗合いで最低限での車両使用	B	継続	
	灯油使用量	暖房器具温度の適正化	A	継続	東川
		使用していない休憩所のストーブを消す。	A	継続	
		現場事務所でのストーブ適正使用	A	継続	
	LPガス使用量	給湯器使用は冬季のみ	A	継続	宮下
		漏れガス防止	A	継続	
		ガストーブの適正使用	A	継続	
	一般廃棄物の削減	3S（整理・整頓・清掃）活動を実施している	A	継続	田中
		ゴミの分別の徹底	A	継続	
産業廃棄物の削減とリサイクル向上	作業ミスによる廃棄物の削減	B	継続	新田	
	保管場所の整理整頓	A	継続		
	分別し適正な処理業者へ委託	A	継続		
水道使用量の削減	節水表示等で節水の呼びかけ	A	継続	宮下	
	ホースに手元バルブを取り付けて流し放し防止	A	継続		
	雨水利用の向上	B	継続		
グリーン購入(事務用品)	ECO製品を優先に購入する	A	継続	田中	
環境配慮製品の販売促進	自社製造リサイクル製品の販売促進	A	継続	宮上	
収集運搬における環境配慮	急発進・急加速・急ブレーキの阻止	A	継続	村田	
	積載オーバー防止	B	継続		

2) 次年度の取組

具体的な取組は次年度も継続して実施する。

7. 環境関連法規等の遵守状況

1) 環境関連法規等の遵守状況

最新版確認 2024年5月17日

確認者 環境管理者 田中 健

法規名	遵守状況・評価	9月	3月
廃棄物・リサイクル対策関係法規			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	契約書 マニフェスト 管理台帳 石川県に報告 許可の更新・届出	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	発生抑制 3Rの推進	○ ○	○ ○
公害対策関係法規			
大気汚染防止法 (ベルコン・フルイ機・破碎機等) (固化材製造装置)	一般粉塵発生施設の届出 特定施設設置届の提出	○ ○	○ ○
騒音規制法 (ベルコン・フルイ機・破碎機等) (杭打ち機、削岩機、空気圧縮機など)	特定施設設置の届出 特定施設設置の届出	非該当 非該当	非該当 非該当
振動規制法 (ベルコン・フルイ機・破碎機等) (杭打ち機、削岩機、空気圧縮機など)	特定施設設置の届出 特定施設設置の届出	非該当 非該当	非該当 非該当
土壌汚染対策法	契約 マニフェスト 管理台帳	○ ○ ○	○ ○ ○
その他の関連法規			
道路交通法		○	○
道路運送車両法		○	○
労働安全衛生法		○	○
消防法	危険物貯蔵庫設置届	○	○
フロン排出抑制法	簡易点検実施	○	○

※具体的な詳細は、別紙記録にあり。

※評価は 2024年7月30日

※評価者 環境管理者 田中健

2) 環境関連法規制への違反、訴訟状況

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境関連法規への違反はありません。
また、関係当局よりの違反・訴訟等の指摘は、過去3年間ありません。

8. 代表者による全体の評価と見直し

実施日 2024年8月10日

場所	(株)田中建設 本社会議室
出席者	代表者： 田中 均 環境管理責任者： 田中 健
参考資料	<ul style="list-style-type: none">*環境活動の実施状況*緊急時の訓練記録*環境への負荷の自己チェックシート等*環境目標の達成状況*環境関連法規制の遵守状況と評価*外部、内部コミュニケーション状況*環境経営レポート
評価 と 見直し	環境活動は社員全員が積極的に取り組んでいるが、CO2排出量は目標値を達成できていない項目がある。次年度は未達成の項目を重点的に、日常業務を今一度見直し、無駄がないよう工夫して業務に取り組んでください。基準年及び目標値は次年度も継続していく。
改善	重機・車両・施設設備の修繕が増大しているので、日常の点検や使用後の整備を丁寧に実施すること。
展望	自然災害により、環境が激変している。 弊社の「リサイクルした土」を災害復旧工事等に積極的に利用して、環境保全・国土強靱化に貢献していきたい。